

数字が見えたことで会社が変わった ～まずは売上至上主義からの脱却～

9月例会の報告者は株式会社
リサイクルの代表取締役社長
大天政揮氏です。

父親が創業者であり、すでに
社員を約40名抱える規模にま

で成長した会社の代表取締役社長に28歳という若さで就任されます。



同友会での学びなどから会社の改革を進め、順調にすすんでいたのですが、リーマン
ショックがあり徐々にその影響を受けて売上がなだらかに下がっていきます。

従業員に発破をかけて売上を上げることに奔走しますが、利益も上がりず会社全体の
モチベーションも下がる。何かがおかしい。そこで出会ったMG研修で「売上至上主義
の落とし穴」が解り、数字を見る大事さに気づかれます。

そこから数字の裏付けをしっかりと作っていくことで営業の目標や成績、会社の経営計画
も明確に作れるようになります。このコロナ禍で売上高が下がっても、何も心配してな
かったと語られました。さて「売上至上主義の落とし穴」とはなんなのか？まだ数字が
しっかり見れていないと感じている方はぜひ報告を聞きにきてください！



報告者

株式会社リサイクル 代表取締役社長
大天 政揮 氏

会社概要

事業内容:工業薬品製造・販売 産業廃棄物処理
創業:1978年12月
従業員数:40名

9月26日(月)

受付18:00 開会18:30 終了21:00

【会場】

阿部野市民学習センター

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野
筋3-10-1-300 あべのベルタ3階

申し込みはこちらから

